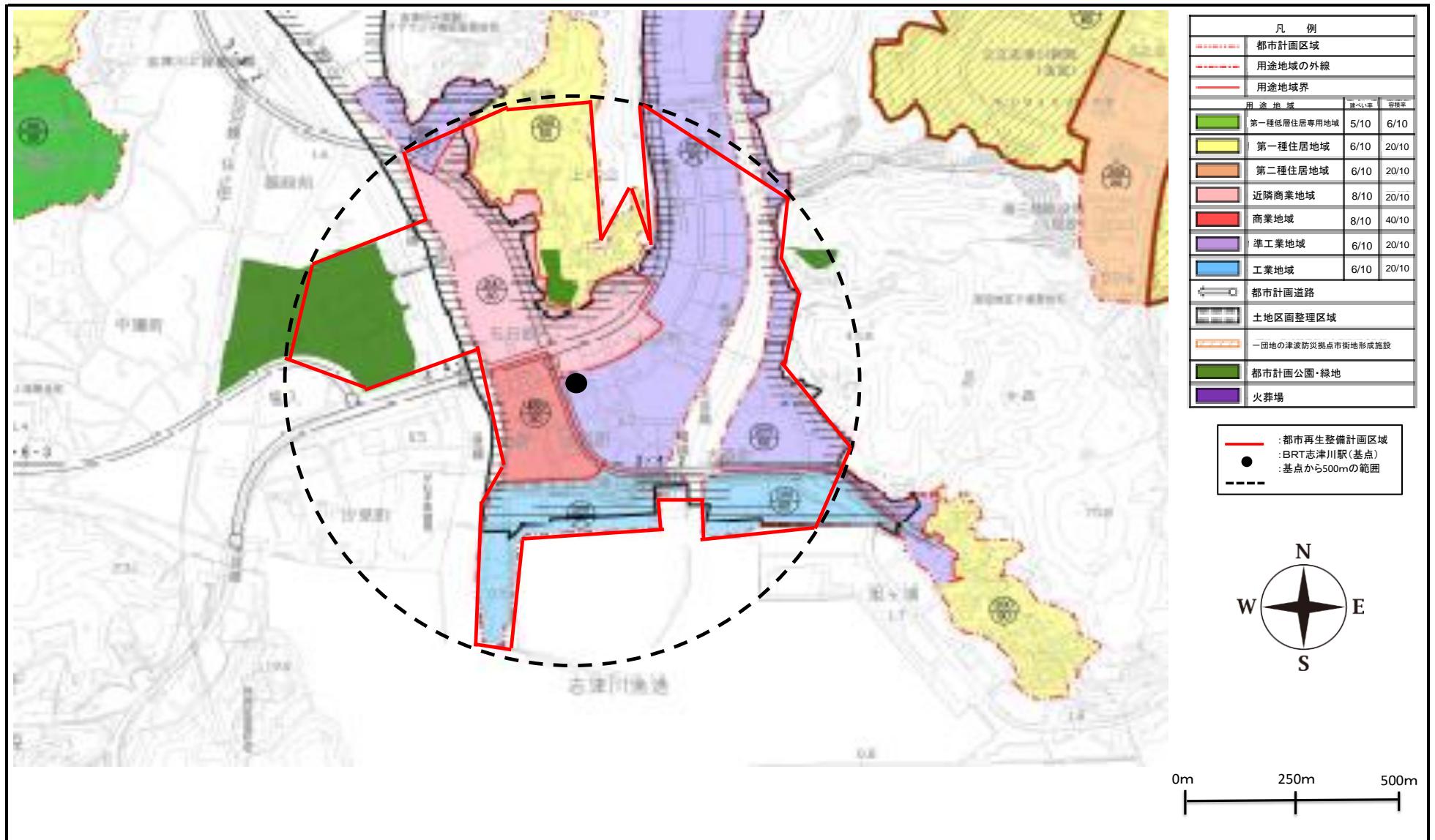


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

し づ がわ
志津川交流拠点地区（宮城県南三陸町）
みなみさんりくちょう

志津川交流拠点地区(宮城県南三陸町) 現況図



交付限度額算定表(その1)

志津川交流拠点地区（宮城県南三陸町）

様式(2)～③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	507.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	3,400.0 百万円	X≤Yゆえ、本計画における交付限度額	507.0 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	-------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

公共施設の上限整備水準			公共施設の現況整備水準			住宅施設		
区域面積(m ²)	468,000		整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	110,249		建設予定戸数(戸)	0	円
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50	推定現況整備水準(小数第2位まで)	0	超高層		
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45	推定公共施設面積(m ²)	0	一般		
		○ その他の地域	0.40			合計	0	
単位面積あたりの標準的な用地費			個別公共施設の積み上げ			標準整備費(円/戸)		
標準地点数	4		面積(m ²)	110,249	割合	超高層		
公示価格の平均値(円/m ²)	16,900		道路	67,200	0.14	一般		
単位面積あたりの標準的な補償費			公園	32,310	0.07			
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)			広場	10,739	0.02			
標準補償費(円/戸)	44,000,000		緑地	-				
まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設			公共施設合計	110,249	0.24			
施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)						
合計	0	0						
各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)			Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)			Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)		
<都市構造再編集中支援事業>			Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	1535 百万円		Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	3400 百万円	
交付限度額(X1)								
<都市再生整備計画事業>								
交付限度額(X2)								
507.0 百万円								
<まちなかウォーカブル推進事業>								
交付限度額(X3)								
百万円								

交付限度額算定表(その2)(都市再生整備計画事業)

志津川交流拠点地区（宮城県南三陸町） 様式(2)-④-2

社会资本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円卖位)			単位:百万円				
○交付対象事業費(必ず入力)	(百万円)	(百万円)					
交付対象事業費	基幹事業合計(A)	912,685.838	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	618,961.147	① (国費)	
	提案事業合計(B)	634,717.030	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	507,047.688	② (国費)	
	合計(A+B)	1,547,402.868	(事業費)	上記①、②の小さい方	507,047.688	③ (国費)	
	提案事業割合(B/(A+B))	0.411		国費率(③÷(A+B))	0.328	④ (国費率)	
○拡充の有無							
以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。							
・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	→ 3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)		
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)	3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	507,047.688	⑥ (国費)		
・4)式の適用[都市再生緊急整備地域等の45%拡充]		(選択)	3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.328	⑦ (国費率)		
○拡充がある場合の事業費等							
平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。							
平成20年度二次補正	防災対象事業(A')	A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	507,047.688	⑧ (国費)		
の執行がある場合	補正予算の執行額	(国費)	→ 執行額を足した額	507,047.688	⑨ (国費)		
			補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	507,047.688	⑩ (国費)		
			補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.328	⑪ (国費率)		
4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.328	⑫ (国費率)	
	適用対象となる交付対象事業費(A"+B")	0.000	(事業費)	→ 適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)	
	適用対象となる基幹事業合計(A")		A" (事業費)	適用後の国費率(⑬÷(A"+B"))	#DIV/0!	⑭ (国費率)	
	適用対象となる提案事業合計(B")		B" (事業費)	4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)	
※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A"、B"を記入し、A"=A、B"=B、H=A"+B"=A+Bとなる。					↓		
					拡充も考慮した交付限度額	507,047.688	⑯ (国費)
○交付限度額、国費率の算出							
交付対象事業費(A+B)	1,547,402.9	(事業費)	社会资本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	507,047.6	⑰ (国費)		
			国費率	0.328	⑱ (国費率)		

年次計画(都市再生整備計画事業)

樣式(2)-⑤-2

(事業費:百万円)

提案事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域創造支援事業	震災伝承施設の整備	道の駅エリア内	南三陸町	628.5	42.5	299.1	286.9	0.0	
事業活用調査	事業効果分析調査	志津川交流拠点地区	南三陸町	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	
まちづくり活動推進事業	ワークショップの開催	しおさい通り	南三陸町	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	
	地区内回遊マップの作成	志津川交流拠点地区	南三陸町	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	
計				634.7	44.7	299.1	286.9	4.0	0.0
合計				1,546.9	117.1	631.3	794.5	4.0	0.0
累計進捗率 (%)					7.6%	40.8%	51.4%	100.0%	

公園(都市公園:その1)

ふりがな 公園名又は地区名	かみのやまこうえん 上の山公園	当初の都市計画決定 (*4) 直近の都市計画変更 (*4)	1984年 7月 日 1984年 7月 日 (完成予定年度)	事業期間		施策公園名 (*5)
種別 (*1) 計画面積(ha) (*2)	都市緑地 0.5	供用済み面積(ha) (*3) 0.5	当初の事業認可取得時期 (*4) 直近の事業認可取得時期 (*4)	年 月 日 年 月 日	全体事業費 ※単独費等も含んだ総事業費 23.1 百万円	

地区交付事業の場合は、I～IIのうち該当する事業に○を付けて必要事項を記入する。

公園又は地区の概要(目的、計画概要)

上の山公園は、旧志津川町の中心部を見下ろす位置にあり、近世・近代を通じて志津川宿の文京地区として親しまれてきた場所である。1984年(昭和59年)11月、上の山高校跡地を緑地公園として整備を開始。避難所としての機能も有した都市公園(都市緑地)として整備された。芝生の広場では、子育て世代が家族で弁当を食べる姿や、公園内にあった2つの小山では、幼児が登ったり降りたりを延々と繰り返す姿が見られる、安全安心な憩いの場として利用されていた。東日本大震災による津波被害の影響から、震災以降、現在も立入禁止となっている状況。
*南三陸町役場庁舎も津波被害を受け、上の山公園に関する資料(当初の目的や計画概要)が消失している。

I 緑化重点地区総合整備事業 () (*6)			II 中心市街地活性化広場公園整備事業 () (*6)		
地区的位置づけ	緑の基本計画の策定時期	年 月	商業地域面積	広場公園地区に占める商業地域及び近隣商業地域の割合	%
() ①都市景観形成地区(都市の中心駅周辺、官公庁街や商業・業務の中心等都市の拠点となる地域であり、景観形成のために緑地の整備と緑化を行う必要性が特に高い地区)		ha	中心市街地基本計画策定時期	年 月	
() ②都市環境改善地区(クールアイランドや風の道の形成などによる都市のヒートアイランド現象の緩和、河川等と一体となったエコロジカルネットワークの形成など、都市環境の改善のために重点的に緑地の整備と緑化を行う必要性が特に高い地区)	近隣商業地域面積	ha	地区に占める35DID区域の面積と割合		
() ③防災機能向上地区(避難地の面積が十分に確保できていない等防災上課題があり、緊急的に延焼防止帯等となる緑地の確保及び市街地の緑化を行う必要性が特に高い地区)	ha	ha	ha		%
I、IIの事業地区において整備を実施する都市公園等					
公園等名	種別等 (*7)	面積(m ²)	公園等名	種別等 (*7)	面積(m ²)

事業箇所ごとに1枚作成すること。ただし、地区採択事業の場合は、地区ごとに1枚とする。

*1 「種別」の欄には、「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝绿地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。

地区交付事業の場合は、緑重1(緑化重点地区総合整備事業のうち①、②の要件に係るもの)、緑重2(緑化重点地区総合整備事業のうち③の要件に係るもの)、緑重3(中心市街地活性化広場公園整備事業)と記入。

*2 地区交付事業の場合は、地区面積を記入。(単位:ha)

*3 まちづくり交付金事業実施以前の供用済み面積を記載。地区交付事業の場合は、地区内で事業を行う都市公園に係る供用面積の合計を記入。(単位:ha)

*4 地区交付事業の場合は、記入不要。

*5 国が定める政策課題に対応する個別補助事業の対象となる都市公園である場合は、「防災公園」、「自然再生緑地」、「歴史・観光関連公園」、「イベント関連公園」、「大規模公園」のいずれかを記入。

*6 地区交付事業の場合、I、IIのどちらの要件に該当するか○を記入する。地区交付事業でない場合は、記入不要。

*7 緑化重点地区総合整備事業において、都市公園以外の公共公益施設の緑化を行う場合は、当該施設名称を記入。(小学校、市庁舎等)

その他:地区交付事業の設計図(平面図)は、まちづくり交付金で整備する都市公園全てについて添付すること。また設定した地区及び地区内の整備箇所(交付金、単独問わず)については、整備方針概要図の中に明示すること。

公園(都市公園:その2)

ふりがな 公園名又は地区名	かみのやまこうえん 上の山公園
------------------	--------------------

地域の抱える課題に対する当該公園又は地区の役割					
震災以前の上の山公園は全面芝生が整備され、子育て世代が家族で弁当を食べたり、子供が園内にあった小山を自由に登り降りするなど、町民の憩いの場として利用されていた。 しかしながら、東日本大震災の津波により公園全域が水に浸かる被害を受け、震災以降、現在も立入禁止となっている状況。 当該公園を再生することで、以前のような町民の「憩いの場」を創出する。 更に、志津川交流拠点地区の回遊性を高めることにより公園滞在後に、道の駅、しおさい通り、震災復興祈念公園に足を運んでもらうことで志津川市街地の賑わいの創出も期待できる。					
用地取得計画(m ²)					
	まち交以前	まち交取得面積	残面積	合計	備考
買収					広場
(内買い戻し)					芝生
国公有地					休憩所
その他					ベンチ
合計					便所
計画期間中の事業費					
費目	まち交以前	まち交事業費	残事業費	合計	備考
交付金事業費 (百万円)	用地費				水飲み場
	施設費		7.6	7.6	擬石
	計		7.6	7.6	
単独事業費 (百万円)	用地費				
	施設費		15.5	15.5	
	計		15.5	15.5	
合計 (百万円)	用地費				
	施設費		23.1	23.1	
	計		23.1	23.1	
供用予定面積(n ²)					

事業箇所ごとに1枚作成すること。ただし、地区交付事業の場合は、地区ごとに1枚とする。

*1 「施設名」の欄には、都市公園法第2条及び施行令第5条に定められている公園施設の分類で記入。

地区交付事業の場合は、「施設名」に都市公園等の名称、「規模、構造・工法等」に種別及び面積(m²)、「特記事項」に整備内容(主要施設)を記入する。

*2 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
自転車駐車場	道の駅駐輪場	南三陸町	平面駐輪場、 67.91m ² 、 49台	12.0			12.0		都市計画決定:有 自転車駐車施設整備計画:無 自転車駐車場に関する附置義務条例:無
広場	うみべの広場	南三陸町	5,936m ²	171.9	11.9		160.0	—	施設附帯駐車場含む
広場	(仮)しおさい通り多目的広場	南三陸町	3,575m ²	34.5	4.5		30.0		
広場	(仮)さんさん広場	南三陸町	933m ²	8.3			8.3		
駐車場	志津川保育所跡地 駐車場	南三陸町	平面駐車場、 3079m ² 、 74台	12.0	1.4		10.6		交付対象3.0 百万円
合計	—	—	—	238.7	17.8		220.9		

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体○層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・駐車場には、共同駐車場、荷捌き駐車場、駐車場出入口付替等を含む。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

高次都市施設

■ 地域交流センター、観光交流センター、まちおこしセンター、子育て世代活動支援センター、複合交通センター

(単位:百万円)

施設名	事業主体	概要 (床面積、規模等)	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				備考 (施設の内容等)
			開始年度	完了年度	うち設計費	うち用地費	うち整備費	うち購入費	
複合交通センター	南三陸町	3500m ²	R2	R4	339.2			339.2	<ul style="list-style-type: none"> ・BRT ・町民バス ・高速バス ・タクシープール ・待合・休憩スペース ・トイレ
地域交流センター	南三陸町	185m ²	R2	R4	154.6			154.6	<ul style="list-style-type: none"> ・交流スペース ・休憩スペース ・施設付帯駐車場
観光交流センター	南三陸町	185m ²	R2	R4	154.6			154.6	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所 ・手作り品販売スペース ・多目的スペース ・施設付帯駐車場

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートアーチャー・モニュメント、土壠、堀跡等)	地域振興機能施設 緑化	南三陸町	張芝一部種子吹付 (1,511m ²)	8.1			8.1	
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
情報化基盤施設								
合計	—	—	—	8.1			8.1	

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				事業費の主な使途概要	その他
				開始年度	完了年度	うち調査費	うち用地費	うち整備費	うち購入費		
■地域創造支援事業 震災伝承施設の整備	南三陸町震災伝承施設を整備。 ①南三陸町民の被災体験を伝える ②全国・世界からの支援への感謝を伝える ③唯一無二の体験と感動を与える観光交流の拠点 ④町民が被災体験を語り合う、みんなの広場	南三陸町	644.65m ²	R2	R4	628.5			628.5	震災伝承施設の整備費用	
■事業活用調査 事業効果分析調査	志津川交流拠点地区都市再生整備計画における各事業の効果分析調査を実施	南三陸町	1回	R5	R5	2.0	2.0			事業効果を分析するための調査費	
■まちづくり活動推進事業 ワークショップの開催	「町民、地権者、事業者、町」が一緒になって、「しおさい通り」の活用方法を話しあうためのワークショップを開催	南三陸町	4回/年	R2	R2	2.2				ワークショップの講師謝金等	
■まちづくり活動推進事業 地区内回遊マップの作成	志津川交流拠点地区内の回遊モデルや距離、徒歩による消費カロリー、スポット等を記載したマップを作成し、地区内の回遊性を高める。	南三陸町	—	R5	R5	2.0				回遊マップの構成等も含めた作成費用	